

税金の使い方を再度問う

原 成兆 議員（自民）

町長 必要な事業を見定め、予算編成に取り組む



新年度予算のヒアリング

質問 今の日本は、現政権の実行力のなさが日本丸を難破させかけ、特に外交面においての稚拙さが日本経済に悪影響を及ぼしている。そうした中、来年度の予算編成にあたり、町内企業・住民が元気を取り戻せる事業を重点施策に掲げるべきであり、一方、補助金や委託金等の使い方には工夫が必要である。

町長 23年度予算編成にあたり、地域の活性化および町民が安心して生活できるまちづくりを推進するため、各種施策の効果予測を立て、取り組むよう指示した。補助金については、補助対象団体の自立化を促進し、補助金の必要性と効果を見極め、適正化を進める。全ての町民が、活力に満ちた生活を送ることのできる地域社会の創造を念頭に、真に必要な事業を見定めながら予算編成に取り組む。



どう活かす

突然の25億円の税収入

森 亘 議員（自民）

町長 町財政の負担軽減を図る

質問 JR車両基地の工期延期に伴い、徴収猶予していた特別土地保有税など総額約25億円余が町に入るようになった。町はこの突然の税収をどう活かそうとしているのか。将来につけを残さぬよう負

債の償還や基金の積み増しに充てるべきと考えているのか。それとも、これまで厳しい財政状況を理由に進まなかったインフラ整備や教育・福祉・地域活動などの諸問題の解決に充て、住民と市場に還元するべきと考えているのか町長の所見を伺う。

町長 将来にわたる財政安定化のため、借入金および基金繰り入れを縮減する。また、地方債の繰り上げ償還を行い、町財政の負担軽減を図る。財政の負担軽減を図る。地域経済の活性化対策として、今年度末にプレミアム付商品券の発売を21年度と同規模で実施する。



21年度のプレミアム付商品券の発売風景

元するべきと考えているのか町長の所見を伺う。

町長 将来にわたる財政安定化のため、借入金および基金繰り入れを縮減する。また、地方債の繰り上げ償還を行い、町財政の負担軽減を図る。

社会貢献活動団体への支援策を問う

竹嶋 久雄 議員（自民）

町長 運営への助言など適切な支援を行っていく



AED（自動体外式除細動器）の設置について

青山 晋 議員（公明）

町長 新たな公共施設にも当初から設置を見込む



AEDの取り扱いについて講習を受ける町職員

質問 AEDは2004年7月から一般の人にも使用可能となり、町の公共施設や駅、空港、飛行機、新幹線及びホテルなどに設置されている。この結果、致死性不整脈で心室細動になった多くの人々が命を救われている。町も設置が進んでいると思うが、まだ充分とは思えない。今後の結果、致死性不整脈で心室細動になった多くの人々が命を救われている。町も設置が進んでいると思うが、まだ充分とは思えない。

町長 3点について、
問①設置基準について。
問②整備計画について。
問③講習など、普及啓発のための消防署との連携は。
町長 3点について、今後建設される公共施設にも当初から設置を見込んでおり、行政として改めて設置基準および整備計画を定める必要はないと考える。AEDの取り扱いを含めた救命技能講習は、役場全職員、学校関係者、消防団員、自主防災組織の方たちを対象として実施している。今後も技能の普及に努める。



ボランティアセンターみずほの相談窓口

質問 これからの町の発展には、社会貢献活動団体の組織づくりが欠かすことができない。町民がボランティア活動への意識を高め、積極的に組織に加入し、協働を強化するためには、運営さらには取り組みについての課題がある。町としての支援体制の見直し強化が必要と思うが、町長の所見を問う。

町長 社会貢献活動団体とまちづくりに関する情報を共有化し、互いに対等な関係を築く

ことが重要なことから、各地域に職員を積極的に関わらせ、地域活動に必要な手助けをするなど、各地域課題を汲み上げる仕組みを構築したい。支援については、安易な財政支援は団体の自立性を弱めることとなりかねず、町民自身が自主的に継続的に活動する姿勢を町は十分尊重しなければならぬ。運営に対する助言など団体への適切な支援を行っていく。